

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年10月3日
【四半期会計期間】	第38期第2四半期（自平成23年5月21日 至平成23年8月20日）
【会社名】	株式会社さが美
【英訳名】	SAGAMI Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小野山 晴夫
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市港南区下永谷6丁目2番11号
【電話番号】	045(820)-6000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理管理部長 宿野 大介
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市港南区下永谷6丁目2番11号
【電話番号】	045(820)-6000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理管理部長 宿野 大介
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第37期 第2四半期 連結累計期間	第38期 第2四半期 連結累計期間	第37期 第2四半期 連結会計期間	第38期 第2四半期 連結会計期間	第37期
会計期間	自平成22年 2月21日 至平成22年 8月20日	自平成23年 2月21日 至平成23年 8月20日	自平成22年 5月21日 至平成22年 8月20日	自平成23年 5月21日 至平成23年 8月20日	自平成22年 2月21日 至平成23年 2月20日
売上高 (千円)	15,013,466	12,721,098	8,820,350	7,701,557	29,477,614
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	20,922	440,845	593,642	427,356	146,392
四半期純利益又は四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	89,028	866,898	527,922	404,558	25,526
純資産額 (千円)	-	-	9,279,484	8,472,208	9,372,478
総資産額 (千円)	-	-	16,969,655	14,922,451	15,828,409
1株当たり純資産額 (円)	-	-	233.32	213.13	235.69
1株当たり四半期純利益又は四半期(当期)純損失 ( ) (円)	2.24	21.80	13.27	10.18	0.64
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	-	-	54.7	56.8	59.2
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	275,252	376,184	-	-	538,066
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	125,608	435,369	-	-	200,822
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	254,565	181,399	-	-	360,998
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	-	-	1,254,167	854,403	976,618
従業員数 (名)	-	-	695 (1,238)	647 (1,021)	666 (1,229)

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

3 従業員欄の(外書)は、パートタイマーの第2四半期連結会計期間(年間)平均雇用人員であります。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成23年8月20日現在

従業員数（名）	647(1,021)
---------	------------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。

2 従業員欄の（外書）は、パートタイマーの当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

### (2) 提出会社の状況

平成23年8月20日現在

従業員数（名）	457(764)
---------	----------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。

2 従業員欄の（外書）は、パートタイマーの当第2四半期会計期間の平均雇用人員であります。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
小売事業	7,732,947	-
その他の事業	16,851	-
合計	7,749,798	-

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 小売事業における販売実績は、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
着物・裏地等	2,696,406	-
帯	933,668	-
和装小物	606,885	-
仕立加工	765,305	-
宝石	1,188,693	-
雑貨	1,225,519	-
その他	285,078	-
売上高計	7,701,557	-
営業収入	31,389	-
合計	7,732,947	-

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 営業収入は、着付教室および配送手数料収入であります。

#### (2) 商品仕入実績

小売事業における商品仕入実績は、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
着物・裏地等	953,635	-
帯	272,005	-
和装小物	260,678	-
宝石	517,400	-
雑貨	528,558	-
その他	128,430	-
合計	2,660,708	-

(注) 1 上記実績は反物等の仕入高であり、その仕立加工についての金額は、当第2四半期連結会計期間においては、429,733千円であります。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2【事業等のリスク】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

当第2四半期連結会計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

継続企業の前提に関する重要な疑義が生じていることについて

当社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。当社グループは、平成19年2月期、平成20年2月期の2連結会計年度において継続して営業損失および経常損失を計上しました。また共用資産の減損等により継続して多額の当期純損失を計上しており、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在する状況となりました。

なお、当該重要事象を改善するための対応策は、「4. 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析(6)

事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容および当該重要事象等を解消し、または改善するための対応策」に記載しております。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災によって寸断されたサプライチェーンの復旧が進み、生産や輸出は概ね震災前の水準に回復し、設備投資や個人消費も持ち直しております。ただ海外経済の減速や急速な円高が、今後の回復の懸念材料となっております。

小売業界は、自粛ムードが緩和するとともに震災の復興需要や節電、猛暑などによる特需によって回復傾向をたどっており、大手小売業の売上高は前年を上廻っております。

当社グループにおきましても、3～4月度は震災の影響が大きかった東日本を中心に販売契約高（受注高）が既設店前年比で86%に落ち込みましたが、当第2四半期連結会計期間の販売契約高（受注高）の既設店前年比は98%まで回復いたしました。

きもの事業では、中核である(株)さが美においては、年間最大規模の熱海展示販売会の契約高が前年を上廻り、また(株)東京ますいわ屋においては今年度より新たにスタートした企画が震災後も好評で、5月度以降の販売契約高（受注高）回復を牽引しました。さらに夏場の浴衣販売が、花火大会の自粛というマイナス材料があったにもかかわらず、機能性素材を生かした新商品の開発や早い時期からのオーダー浴衣への取組が功を奏し、前年並みの点数を販売することができました。

ホームファッション事業でも、当第2四半期連結会計期間において既設店比較で前年を上廻る売上高を確保いたしました。節約志向に対応したキッチン雑貨、さらに猛暑に対応した涼感グッズ等が拡販されました。

店舗面におきましては、きもの事業において震災によるショッピングセンターの閉鎖と効率悪化により5店舗が閉鎖、ホームファッション事業は効率悪化により2店舗閉鎖いたしました。これにより当第2四半期連結会計期間末における店舗数は、(株)さが美244店舗、(株)東京ますいわ屋48店舗、(株)九州さが美15店舗、グループ合計で307店舗となっております。また業態別店舗数は、きもの事業230店舗、ホームファッション事業76店舗、ジュエリー事業1店舗となっております。

この結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、売上高77億1百万円（前年同四半期比12.7%の減）となり、利益面においては、営業利益4億28百万円（前年同四半期比28.8%の減）、経常利益4億27百万円（前年同四半期比28.0%の減）、四半期純利益4億4百万円（前年同四半期比23.4%の減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、149億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億5百万円減少しました。これは主として、現金及び預金や差入保証金が減少したことなどによるものであります。

負債については、64億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少しました。これは主として、資産除去債務の増加があるものの、長期借入金が減少したことなどによるものであります。

純資産については、84億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億円減少しました。これは主として、四半期純損失を計上したことなどによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、8億54百万円となり、第1四半期連結会計期間末に比べ43百万円増加しました。当第2四半期連結会計期間における活動ごとのキャッシュ・フロー状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益4億35百万円により、4億76百万円の収入（前年同四半期は6億69百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出43百万円により、差入保証金の回収による収入64百万円はあるものの、6百万円の支出（前年同四半期は16百万円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金4億円の返済により、4億26百万円の支出（前年同四半期は90百万円の支出）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容および当該重要事象等を解消し、または改善するための対応策

「第2 事業の状況 2 事業等のリスク」に記載のとおり、当社グループには、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。当社グループがこのような状況になったのは、近年の継続的なきものマーケットの縮小という構造的な要因に加え、同業他社倒産を端緒とする過量販売の不信視とそれにともなう信販会社の与信供与厳格化が主な原因であると考えております。

当社グループはこのような状況を解消するため、親会社であるユニー株式会社の支援の下、きもの事業を核とした事業の再構築および経営コストの構造改革等の再建計画を策定し、平成21年2月期以降構造改革を進めており、その成果は着実に見られ、再建計画3カ年において、每期営業利益を計上することができました。

再建計画期間が終了した当年度は、これからの安定的な成長に向けて、「店頭力の強化」「成長に向けた取組み」「人材の育成」「内部統制、コンプライアンスの遵守」「ローコストへの継続的取組み」を重点課題として、その実現に努めております。

当第2四半期連結会計期間の業績は、営業損益、経常損益および四半期純損益が黒字ではありますが、前年同四半期に比べて、すべて悪化いたしました。これは東日本大震災により第1四半期連結会計期間の販売契約高（受注高）が減少し、これによって当第2四半期連結会計期間の売上高（納品高）が減少したことによる一時的な現象であり、重要な環境変化は生じていないと判断しております。

現段階では依然として当社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しておりますが、当連結会計年度の重点課題の実現にスピード感を持って取り組み、当該状況の解消に努めてまいります。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

重要な設備計画の完了

第1四半期連結会計期間末に計画していた設備計画のうち、当第2四半期連結会計期間に完了したものは、次のとおりであります。

会社名	設備名称	所在地	設備の内容	投資額	資金調達方法	着手及び完了年月	
				総額(千円)		着手	完了
提出会社	karako 吉祥寺店	東京都武蔵野 市	店舗の改修	5,515	自己資金	23.5	23.6
	ORANGE HOUSE 日の出店	東京都西多摩 郡日の出町	店舗の改修	6,237	自己資金	23.6	23.7
	小計	-	-	11,752	-	-	-
合計		-	-	11,752	-	-	-

重要な設備の新設・除却等

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	117,907,000
計	117,907,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年8月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年10月3日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	40,834,607	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	40,834,607	同左	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年5月21日～ 平成23年8月20日	-	40,834,607	-	9,217,235	-	8,812,318



(6)【大株主の状況】

平成23年8月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
ユニー株式会社	愛知県稲沢市天池五反田町1	21,994	53.9
UBS AG SINGAPORE (常任代理人 シティバンク銀行株式会 社)	AESCHENVORSTADT 1CH-4051 BASEL SWITZERLAND (東京都品川区東品川2-3-14)	1,660	4.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	1,247	3.1
さが美共栄会	横浜市港南区下永谷6-2-11 株式会社さが美内	982	2.4
株式会社セディナ	名古屋市中区丸の内3-23-20	854	2.1
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1-13-1	810	2.0
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1-6-6	411	1.0
三菱UFJニコス株式会社	東京都文京区本郷3-33-5	384	0.9
さが美社員持株会	横浜市港南区下永谷6-2-11	335	0.8
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	東京都渋谷区恵比寿1-28-1	308	0.8
計	-	28,987	71.0

(注) 上記のほか、自己株式が1,082千株(2.7%)あります。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成23年8月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,082,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 39,155,000	39,155	-
単元未満株式	普通株式 597,607	-	一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	40,834,607	-	-
総株主の議決権	-	39,155	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社の自己株式971株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社さが美	横浜市港南区下永谷 6 - 2 - 11	1,082,000	-	1,082,000	2.6
計	-	1,082,000	-	1,082,000	2.6

(注) 株主名簿上は当社名義であります。実質的に所有していない株式が1,000株(議決権1個)あります。  
なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄に含まれております。

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年3月	4月	5月	6月	7月	8月
最高(円)	123	114	118	102	98	97
最低(円)	69	91	98	93	94	85

(注) 株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成22年5月21日から平成22年8月20日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成22年2月21日から平成22年8月20日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成23年5月21日から平成23年8月20日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成23年2月21日から平成23年8月20日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成22年5月21日から平成22年8月20日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成22年2月21日から平成22年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成23年5月21日から平成23年8月20日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成23年2月21日から平成23年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	854,403	1,176,618
受取手形及び売掛金	1,203,487	1,474,756
商品	2,407,669	2,466,602
貯蔵品	9,424	11,330
その他	1,549,065	1,453,585
貸倒引当金	3,100	3,048
流動資産合計	6,020,949	6,579,845
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	492,477	459,695
土地	3,267,848	3,262,472
その他(純額)	84,510	89,015
有形固定資産合計	3,844,836	3,811,182
無形固定資産	117,948	138,263
投資その他の資産		
差入保証金	3,445,539	3,743,348
その他	1,707,593	1,831,585
貸倒引当金	214,416	275,815
投資その他の資産合計	4,938,717	5,299,117
固定資産合計	8,901,502	9,248,564
資産合計	14,922,451	15,828,409

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,523,499	1,560,909
1年内返済予定の長期借入金	220,000	400,000
未払法人税等	100,940	200,436
前受金	1,301,456	1,246,024
賞与引当金	26,900	33,300
資産除去債務	12,604	-
その他	1,130,396	1,238,292
流動負債合計	4,315,796	4,678,962
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,000,000
退職給付引当金	597,710	619,549
資産除去債務	395,799	-
その他	140,937	157,418
固定負債合計	2,134,447	1,776,967
負債合計	6,450,243	6,455,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,217,235	9,217,235
資本剰余金	8,812,318	8,812,318
利益剰余金	8,445,413	7,578,514
自己株式	344,178	342,778
株主資本合計	9,239,962	10,108,261
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,032	33,004
土地再評価差額金	768,786	768,786
評価・換算差額等合計	767,753	735,782
純資産合計	8,472,208	9,372,478
負債純資産合計	14,922,451	15,828,409

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)
売上高	15,013,466	12,721,098
売上原価	6,627,913	5,719,041
売上総利益	8,385,552	7,002,056
営業収入	93,805	88,227
営業総利益	8,479,358	7,090,284
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,357,845	2,948,165
賞与引当金繰入額	33,700	26,900
退職給付費用	181,923	176,317
賃借料	1,962,586	1,744,579
その他	2,919,354	2,632,400
販売費及び一般管理費合計	8,455,409	7,528,363
営業利益又は営業損失( )	23,948	438,078
営業外収益		
受取利息	1,789	408
受取配当金	1,339	2,043
株式割当益	6,609	-
仕入割引	13,869	12,284
その他	14,178	9,011
営業外収益合計	37,787	23,748
営業外費用		
支払利息	15,326	9,669
支払補償費	17,540	11,968
その他	7,946	4,876
営業外費用合計	40,813	26,514
経常利益又は経常損失( )	20,922	440,845
特別利益		
固定資産売却益	3,558	380
投資有価証券売却益	-	9,115
貸倒引当金戻入額	6,654	37,850
特別利益合計	10,212	47,346
特別損失		
固定資産除却損	32,193	2,432
減損損失	12,815	9,125
災害による損失	-	16,873
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	372,428
特別損失合計	45,009	400,859
税金等調整前四半期純損失( )	13,874	794,358
法人税、住民税及び事業税	74,429	62,248
法人税等調整額	724	10,291
法人税等合計	75,154	72,540
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	866,898
四半期純損失( )	89,028	866,898

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年5月21日 至平成22年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)
売上高	8,820,350	7,701,557
売上原価	3,869,590	3,417,291
売上総利益	4,950,760	4,284,266
営業収入	47,134	48,241
営業総利益	4,997,894	4,332,507
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,655,637	1,434,603
賞与引当金繰入額	33,700	26,900
退職給付費用	91,085	88,333
賃借料	1,006,783	913,418
その他	1,608,654	1,440,563
販売費及び一般管理費合計	4,395,861	3,903,819
営業利益	602,033	428,688
営業外収益		
受取利息	896	44
受取配当金	1,339	1,956
仕入割引	7,711	6,985
その他	11,215	5,641
営業外収益合計	21,163	14,628
営業外費用		
支払利息	7,725	4,506
支払補償費	17,515	10,228
その他	4,313	1,224
営業外費用合計	29,554	15,959
経常利益	593,642	427,356
特別利益		
固定資産売却益	2,820	380
貸倒引当金戻入額	539	2,090
特別利益合計	3,360	2,470
特別損失		
固定資産除却損	19,901	2,352
減損損失	12,815	2,022
災害による損失	-	10,271
特別損失合計	32,717	5,896
税金等調整前四半期純利益	564,285	435,724
法人税、住民税及び事業税	37,192	31,684
法人税等調整額	829	518
法人税等合計	36,363	31,165
少数株主損益調整前四半期純利益	-	404,558
四半期純利益	527,922	404,558

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	13,874	794,358
減価償却費	71,238	70,388
減損損失	12,815	9,125
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	372,428
貸倒引当金の増減額( は減少)	25,839	61,347
賞与引当金の増減額( は減少)	7,260	6,400
固定資産売却損益( は益)	3,558	380
退職給付引当金の増減額( は減少)	32,530	21,839
事業構造改善引当金の増減額( は減少)	189,287	-
受取利息及び受取配当金	3,129	2,452
支払利息	15,326	9,669
為替差損益( は益)	17	-
有価証券及び投資有価証券売却損益( は益)	-	9,115
固定資産除却損	32,193	2,432
売上債権の増減額( は増加)	46,243	271,268
たな卸資産の増減額( は増加)	543,367	60,840
仕入債務の増減額( は減少)	95,150	37,410
前受金の増減額( は減少)	37,889	55,432
その他	54,057	136,873
小計	448,923	218,591
利息及び配当金の受取額	2,861	3,441
利息の支払額	24,813	11,115
法人税等の支払額	151,719	149,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	275,252	376,184
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	200,000
有形固定資産の取得による支出	38,630	62,175
無形固定資産の取得による支出	7,953	6,470
有形固定資産の売却による収入	3,558	364
投資有価証券の売却による収入	-	14,124
投資有価証券の取得による支出	598	598
差入保証金の差入による支出	1,965	6,199
差入保証金の回収による収入	185,570	271,288
その他	14,373	25,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	125,608	435,369
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	500,000	-
長期借入金の返済による支出	245,000	180,000
自己株式の取得による支出	434	1,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	254,565	181,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	-
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	655,409	122,214
現金及び現金同等物の期首残高	598,757	976,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,254,167	854,403



【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間（自平成23年5月21日 至 平成23年8月20日）

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間  
（自平成23年2月21日 至 平成23年8月20日）

会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失が2,311千円増加し税金等調整前四半期純損失が376,732千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は420,895千円でありま

す。

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間  
（自平成23年2月21日 至 平成23年8月20日）

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

当第2四半期連結会計期間  
（自平成23年5月21日 至 平成23年8月20日）

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間  
（自平成23年2月21日 至 平成23年8月20日）

法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間（自平成23年2月21日 至 平成23年8月20日）

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月20日)	前連結会計年度末 (平成23年2月20日)
有形固定資産の減価償却累計額 5,056,241千円	有形固定資産の減価償却累計額 5,065,461千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 1,254,167千円	現金及び預金 854,403千円
現金及び現金同等物 1,254,167千円	現金及び現金同等物 854,403千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年8月20日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年2月21日至平成23年8月20日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期連結会計期間末
普通株式(株)	40,834,607

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期連結会計期間末
普通株式(株)	1,082,971

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

4 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年2月21日至平成22年8月20日)及び前第2四半期連結会計期間(自平成22年5月21日至平成22年8月20日)

全セグメントの売上高の合計および営業利益に占める小売業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年2月21日至平成22年8月20日)及び前第2四半期連結会計期間(自平成22年5月21日至平成22年8月20日)

在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年2月21日至平成22年8月20日)及び前第2四半期連結会計期間(自平成22年5月21日至平成22年8月20日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成23年2月21日至平成23年8月20日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成23年5月21日至平成23年8月20日)

当社グループは、全セグメントに占める「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループが行っているデリバティブ取引は、すべてヘッジ会計が適用されており、当四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

資産除去債務の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月20日)	前連結会計年度末 (平成23年2月20日)
213.13円	235.69円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月20日)	前連結会計年度末 (平成23年2月20日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計(千円)	8,472,208	9,372,478
普通株式に係る純資産額(千円)	8,472,208	9,372,478
連結貸借対照表の純資産額の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る連結会計年度末の純資産の額との差額の主な内訳	-	-
普通株式の発行済株式数(千株)	40,834	40,834
普通株式の自己株式数(千株)	1,082	1,068
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	39,751	39,765

2 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)
1株当たり四半期純損失( ) 2.24円	1株当たり四半期純損失( ) 21.80円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 -	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 -

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純損失の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)
四半期連結損益計算書上の四半期純損失( ) (千円)	89,028	866,898
普通株式に係る四半期純損失( )(千円)	89,028	866,898
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式の期中平均株式数(千株)	39,772	39,760

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成22年5月21日 至平成22年8月20日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)	
1株当たり四半期純利益	13.27円	1株当たり四半期純利益	10.18円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年5月21日 至平成22年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	527,922	404,558
普通株式に係る四半期純利益(千円)	527,922	404,558
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式の期中平均株式数(千株)	39,771	39,756

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

リース取引開始日が平成21年2月20日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しておりますが、当四半期連結会計期間末におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年10月1日

株式会社さが美  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 永 田 昭 夫

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 新 家 徳 子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社さが美の平成22年2月21日から平成23年2月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成22年5月21日から平成22年8月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成22年2月21日から平成22年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社さが美及び連結子会社の平成22年8月20日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年10月3日

株式会社さが美  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山 川 勝

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 新 家 徳 子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社さが美の平成23年2月21日から平成24年2月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年5月21日から平成23年8月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年2月21日から平成23年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社さが美及び連結子会社の平成23年8月20日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 追記情報

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されているとおり、会社は第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」を適用している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。